

# 野村創が投打でチームけん引!!

2連覇を達成した宮寺ロビンス ▶▶

宮寺ロビンス	学年
近藤 翼⑥	
大甕 陽向⑤	
野村 創汰⑥	
池林 凜太郎⑥	
大口 航生⑤	
山田 旺佑⑥	
野村 哲平④	
文字 山竜太④	
新井 凜④	
古川 陽翔④	
中里 幸太郎④	
西澤 慶③	
夕島 遥人③	
嶋田 斗斗③	
荒畑 碧天②	
熊谷 皇①	



# 宮寺ロビンス

# 連覇

読売フェニックスカップ争奪  
秋季少年野球大会プレミア8  
第2回読売フェニックスカップ争奪秋季少年野球大会プレミア8主催・読売センター入間市南鄙区南市西部入間市中央入間市東部後援さいたま朝日知が昨年12月15、22日の2日間入間狭小グラウンドなどで行われた入間市の強豪チームが出場した大会で決勝戦では宮寺ロビンスが6-0で角栄スターズを下し、大会連続2回目の優勝を飾った。

宮寺ロビンスが快勝で2死から1番近藤翼(6年)が左翼線一塁打を打ち、すかさず三盗。2番大甕(わがみか)陽向(5年)が四球と二盗で三塁とすると、「みんなが足りない」と思っている絶対に戻そうと思っという3番野村創汰(宮)

宮寺ロビンス 小牧 竜児 0000  
野村創 0033  
近藤 0030  
野村哲 3X00  
野村創 6 0

▽決勝  
角栄スターズ 0000  
宮寺ロビンス 0033X  
6 0

6年生が4人  
1点を先制した。敵失などさらに2点を追加すると、続く4回裏にも野村創の2点一塁



MVPの宮寺ロビンス・山田

## 得意の機動力で入間市内で無敵5冠

山田がMVP  
上級生が下級生にいかに教えて成長していくのがチームの伝統。近藤主将は「教えることで僕たちも基本を思い出す。徐々につなかりもきた」と、チームワークの向上も挙げた。予選ブロックで安打を積み重ね、準決勝では投手として完封勝利でMVPを獲得した山田旺佑(6年)は「2年から始めて頑張ってきた成果を出せた」と集大成を披露できたことと笑顔。「中学でも活躍したい」と、力強く次も見据えた。

得意の機動力も駆使しながら頂点に導いた狭野幹夫監督(69歳)「投手陣も安定しているからね。うちの野球ができた」と満足そう。新チーム結成から入間市内では5冠と無敵を誇り、6年生が4人と少ないが、1年生など下級生にも同じ練習をさせてチーム力を上げてきた」と勝勝の理由を挙げた。



ベストナインを獲得した選手

# 五十嵐 冷静さ失わず粘り勝ち



ミドルティーン女子シングルス

## 県ジュニア中級者テニス大会

2019年度埼玉県ジュニア中級者テニス大会が昨年12月8～28日、大宮第二公園テニスコートで行われた。ミドルティーン(中学生)女子シングルス決勝では、五十嵐遥香(ジョイナステニスアカデミー、2年)が7-6で金子歩乃佳(浦和明の星女2年)を下し優勝した。3-5とリードを許すも冷静さを失わず、タイブレークの末に粘り勝ちした。

### 初級者大会でも辛勝

劣勢の中でも、五十嵐は諦めない気持ちと冷静さを保ち続けた。「正直、負けると思った」という3-5で迎えた第9ゲーム。15-30とあと2ポイントで敗戦が決まる時だった。

金子のダブルフォルトで点差を詰めた場面で、隣のコートの球が入り一時中断。五十嵐は相手のわずかな異変を見逃さなかった。「少しイライラしているように見えた。まだいけるかも」。自身ははいにいについてこのゲームをブレイクすると、6-6からのタイブレークでは「相手を左右に振ってコースを突いた」と積極的に攻めて7-3で制した。1カ月前の初級者大会の決勝でも6-5と辛勝した金子に「相手の方が格上と思っていたので、すごくうれしい」と満面に笑みを浮かべた。

### 県新人戦団体戦3位

「運動はまったくダメ。足は遅いし、飛び箱も飛べない」という五十嵐が、小4から始めたテニスにはハマった。現在では学校の部活がない時でもクラブで練習。コーチが1面しかない学校でも「仲間と切磋琢磨して練習する



相手のわずかな異変見逃さず

### 楽しさ分かってきた

「こんなに勝るとは思わなかったけど、前よりテニスの楽しさが分かってきた」と五十嵐。大好きなテニスで、自身のさらなる成長への決意をにじませた。

## 写真お分けしています

本紙が撮影した写真に限り、新聞販売店からお届けいたします。お分けいたします。A4サイズ、またB5(さいたま朝日写真館)800円、ハガキサイズ400円。お申し込みお問い合わせは☎03-5479-1231(朝日朝報)新聞社販元統括部、最寄りの読売センターまで。

## 課題練習し次こそ

〇...悔しい逆転負けを喫した金子は「無意識に『まだ2ゲーム余裕がある』と思っていた」が「決勝ではファーストサーブが入らず、セカンドも緩く入れてしまった。ショットも短くなって相手に打られた」と敗因を分析。「課題を練習して次こそは」と、前を向いた。